

## 地域の雇用開発等に関する調査研究

富山県富山市，長野県諏訪市および下諏訪町

昭和40年代の後半，第1次石油ショック以降，我が国経済は高度成長から安定成長への路線の転換によって，地場産業を中心とする地域経済は停滞し，雇用の安定が失われるようになった。このような情勢を背景として，昭和59年度

の桐生市・清水市に引続き，本年度は富山市・諏訪市及び下諏訪町を対象とし，企業の労働に関する資料を収集した。それによって地域産業の基盤強化，活性化，また地域住民の雇用と生活の安定を図るための調査研究を行った。

### <主 査>

- ・小泉幸之輔 日本大学教授

### <研究委員>

- ・井上捷夫 日本経営者団体連盟  
労務管理部雇用課長
- ・工藤正 雇用職業総合研究所  
研究員
- ・合田邦雄 関東学院大学助教授
- ・鈴木直和 労働省職業安定局  
雇用政策課中央雇用計画官
- ・鷹取昭 日本大学教授
- ・松崎邦夫 日本商工会議所産業部  
労働課長

### — 目 次 —

まえがき

#### 第I部 序 論

- 第1章 産業構造の変動と地域雇用
- 第2章 調査研究の目的と対象等

#### 第II部 事業所調査結果の分析

- 第1章 企業行動と雇用変動
- 第2章 雇用構造の現状と課題
- 第3章 雇用管理

#### 第III部 従業員調査結果の分析

- 第1章 企業生活者の基本的特徴
- 第2章 世帯内の地位
- 第3章 地域・企業への定着と移動の意識
- 第4章 技術変化をめぐる従業員の意識
- 第5章 労働に関する意識

附属統計資料

富山：B5判192頁 諏訪：B5判189頁